V60

QUICK GUIDE

VÄLKOMMEN!

本書(クイックガイド)には、ボルボ車に搭載されているさまざまな機能の概略が記載されています。各機能の詳しい情報は、センターディスプレイ、アプリおよびウェブで利用できるオーナーズマニュアルに収録されています。

車両のセンターディスプレイ

オーナーズマニュアルはセンターディスプレイのトップビューから利用できます。

モバイルアプリ

オーナーズマニュアルはスマートフォンおよびタブレット用アプリ(Volvo Manual)の形で用意されています。このアプリには一部の機能のビデオチュートリアルも収録されています。

ボルボのサポートサイト

ボルボ・カーズサポートサイト(support.volvocars.com)では、マニュアルやビデオチュートリアルをはじめ、ボルボ車および車両の保有に関して役立つ情報をご提供しています。

印刷版のマニュアル

グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報を収録したSUPPLEMENT TO THE OWNER'S MANUAL (オーナーズマニュアル付録冊子)が収納されています。この付録冊子には、重要情報や実用的な情報もまとめられています。印刷版のオーナーズマニュアルおよび関連付録は別途注文することができます。

内容

01. ボルボ車を理解する

ここでは、ボルボのシステムおよびサービスの一部について情報を提供するとともに、内部および外部の概要とセンターディスプレイについて紹介します。

02. インテリアおよび接続部

ここでは、車内のさまざまな機能(シート設定やインターネット接続など)について確認することができます。

03. センターディスプレイのビュー

ここには、車両の多くの機能を操作できる、センターディスプレイのさまざまなメインビューに関する情報が記載されています。

04. スマートドライビング

ここでは、車両の運転者サポートシステムのいくつかについて説明し、より経済的に運転できる方法についてヒントを紹介します。

05. 音声認識

ここには、車両の音声認識システムで使用できるさまざまなコマンド/フレーズがあります。

06. 特別なメッセージ

かならずお読みいただく必要のある警告、重要情報、注意事項

出版時に利用可能なすべてのオプション/アクセサリーには、アスタリスク(*)が付いています。

VOLVO
Volvo On Call
Making everyday life a little less complicated
Sign In
Try Demo
13:45
Ånäsvägen
Current position
Lune - Leave The World...
Daniel's Phone
Telenor
Studio
Sound optimized for driver
22°
AUTO
22°

はじめに

ボルボ車を最適な方法でご使用いただくために、知っておくと便利な機能、用語およびヒントがいくつかあります。

Volvo ID

Volvo ID とは、1 つのユーザーネームとパスワードでさまざまなサービスへのアクセスを可能にする個人用 ID です。volvocars.com のパーソナルログイン、コネクテッド・サービス予約オプションなどがその例です。Volvo ID は、volvocars.com で作成する方法と車両で直接作成する方法があります。

Sensus

Sensus は車両の知的インターフェースで、エンターテイメント、インターネット接続、ナビゲーションシステム*および情報サービスに関連する車載ソリューションがすべて組み込まれています。お客様と車両と外部の世界をつなぎ、コミュニケーションを可能にするのが Sensus です。

運転者プロフィール

車内で行なう多くの設定は運転者の好みに応じて調整することができ、運転者プロフィール(複数可)に保存することができます。各キーは 1 つの運転者プロフィールに関連付けることができます。運転者プロフィールの詳細については、本 Quick Guide の「トップビュー」の項を参照してください。

1
2
3
4
5
6

エクステリア概要

1. **センターディスプレイのアプリビューで 車両の状態 アプリの TPMS から新規のタイヤ空気圧(ITPMS)***を確認し、保存します。タイヤ空気圧が低下すると、ドライバーディスプレイに (!) シンボルが点灯します。タイヤ空気圧が低下した場合、4 輪すべてのタイヤ空気圧を点検および調整し、**タイヤ空気圧を保存** を押して新規のタイヤ空気圧を保存します。
2. **エンジンオイルレベルの点検**は、**車両の状態** アプリから行ないます。ここでは、ステータスメッセージおよびコネクテッド・サービス予約*を確認することもできます。
3. リバースギヤ選択時に、**ドアミラー**を自動的に*下方向に傾けることができます。また、リモートコントロールキーを使用して車両をロック/ロック解除したときに、ドアミラーを自動的に畳む/開くことができます。これらの機能は、センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ ルーム/ドアミラーおよびコンビニエンス** の順に選択してオンにします。
4. **キーレスロック/ロック解除***では、リモートコントロールキーをポケットなどに入れて携帯しているだけで、車両のロックやロック解除などを行なうことができます。リモートコントロールキーは車両から約 1 m (3 ft)の範囲内にある必要があります。

   ドアハンドルをつかむか、テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押して、車両をロック解除します。車両をロックするときには、いずれかのドアハンドルの感応式ロックスイッチを軽く押します。両方の感圧面に同時に触れないようにしてください。
5. **パノラマルーフ***には開閉式のサンブラインド付きガラスウインドがあり、車両が I 以上のイグニッション位置のときに、ルームミラーの上にあるコントロールボタンを使用して操作します。コントロールボタンを押し上げるとベンチレーション位置まで開き、コントロールボタンを引き下げると閉じます。パノラマルーフを全開にするには、コントロールボタンを後方へ 2 回引きます。コントロールボタンを 2 回引き下げると閉じます。
6. **パワーテールゲート***は、リアバンパーの左下で前方にゆっくりキックをするような動作(キック操作のテールゲート機能*)で開けることができます。テールゲートの下端にある ボタンを使用すると、テールゲートを閉じてロックすることができます。ゆっくりキックをするような動作でテールゲートを閉じることもできます。足の動きでテールゲートをロック解除するには、車両にキーレスロック/ロック解除機能*が装備されている必要があります。足の動きで開閉するときは、リモートコントロールキーが車両から後方約 1 m (3 ft)の範囲内にある必要があります。

   ガレージでテールゲートが天井に当たることなどを防止するために、開口位置を設定することができます。開口位置を設定するには、テールゲートを開けて、希望する位置で止めます。次に、 を 3 秒以上押すと、その位置が保存されます。

VOLVO

ロック/ロック解除

リモートコントロールキー

1 回軽く押すと、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップがロックされ、警報*が設定されます。

長押しをすると、パノラマルーフ*とすべてのパワーウインドが同時に閉まります。

1 回軽く押すと、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップのロックが解除され、警報*が解除されます。

長押しすると、すべてのパワーウインドが同時に開きます。

1 回軽く押すと、テールゲートのみのロックと警報が解除されます。

長押しすると、パワーテールゲート*が開閉します。

パニック機能は方向指示器およびホーンを作動させて、必要時に注意を引き付けます。作動させるには、ボタンを 3 秒以上押すか、ボタンを 3 秒以内に 2 回押します。この機能は、5 秒間以上作動した後であれば、同じボタンを使用して解除することができます。放置した場合、3 分後に自動的に解除されます。

プライベートロック

プライベートロックはテールゲートをロックする機能で、車両を点検整備やホテルで預けるときなどに役立ちます。

– センターディスプレイの機能ビューで **プライベートロック** をタップすると、機能がオン/オフになります。

オンまたはオフにするためのポップアップウィンドウが表示されます。ロックを使用するたびに、4 桁のコードが選択されます。初めて機能を使用する際は、追加のセキュリティコードを選択する必要があります。

グローブボックスのロック*は、グローブボックスの内側にある付属のキーを使用して行ないます。

1
2
3
4
5
6
7
Åsåsvägen
Current position
Lune - Leave The World...
Daniel's
Telenor
Studio
Sound optimized for driver
13:45
22°
22°
AUTO

インテリア概要

1. **センターディスプレイ**は、車両の主要機能(メディア、ナビゲーションシステム*、エアコンディショナー、運転者サポートシステム、車載アプリなど)の多くの操作に使用されます。
2. **ドライバーディスプレイ**には、速度、エンジン回転数、ナビゲーションシステム*、アクティブ運転者サポートなどの、走行に関する情報が表示されます。ドライバーディスプレイに表示する情報は、アプリメニューから選択できます。アプリは、ステアリングホイールの右側にあるキーパッドを使用して開きます。設定は、センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ メーター** の順に選択して行なうこともできます。
3. **ヘッドアップディスプレイ***は車両のドライバーディスプレイを補完し、ウインドスクリーンに情報を映します。ヘッドアップディスプレイを起動するには、センターディスプレイの機能ビューを使用します。
4. **スタートノブ**を使用して、車両を始動します。エンジンを始動せずにディスプレイにアクセスするには、時計回りに回して手を離します。エンジンを始動するには、ブレーキペダルを踏み込んだままスタートノブを時計回りに回して手を離します。スタートノブを時計回りに回すと、車両がオフになります。
5. **ドライブモード***は、トンネルコンソールのコントロールボタンを使用して設定します。車両はつねにComfortモードで始動します。コントロールボタンを押して、センターディスプレイで **Comfort**、**Eco**、**Dynamic/Polestar Engineered***、**Individual** のいずれかを選択します。コントロールボタンを押して確認します。**Individual** を使用すると、お好みの走行特性に応じてドライブモードを調節することができます。各ドライブモードをオンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ ドライブモード** の順に選択します。
6. **パーキングブレーキ**は、Ⓟ コントロールボタンを引き上げたときに作動します。作動に伴ってドライバーディスプレイのシンボルが点灯します。コントロールボタンを押し下げて、同時にブレーキペダルを踏んで手動で解除します。停車時オートブレーキ機能(Ⓐ)を使用すると、信号待ちなどにより停車した場合、ブレーキを作動させたままブレーキペダルから足を離すことができます。

   自動洗車機を使用するときには、停車時オートブレーキ機能およびパーキングブレーキの自動作動をオフにする必要があります。自動パーキングブレーキを解除するには、センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ** の順に選択します。
7. **助手席側エアバッグのスイッチ***は、助手席側のダッシュボードの端にあり、助手席ドアを開けて操作します。助手席側エアバッグ機能をオン/オフにするには、スイッチを外側に引き出して **ON/OFF** に回します。

01
13:45
Ånäsvägen
現在地
Lune - Leave The World...
Daniel's Phone
Telenor
スタジオ
運転席にサウンド最適化
Camera
22 °C
AUTO
22 °C

センターディスプレイ

センターディスプレイでは、設定とほとんどの機能の操作を行なうことができます。センターディスプレイには、ホームビュー、機能ビュー、アプリビューの 3 つのメインビューがあります。右または左にスワイプすると、ホームビューから機能ビューおよびアプリビューに切り替えることができます。さらに、ディスプレイの上部を下方向にドラッグすることでアクセスできるトップビューもあります。

センターディスプレイおよびドライバーディスプレイの外観を変更するには、トップビューの **設定 ➔ My Car ➔ メーター** でテーマを選択します。ここでは、センターディスプレイの背景の明るさを選択することもできます。

別のビューからホームビューに戻るには、ディスプレイの下にあるホームボタンを軽く押します。ホームビューで最後に使用していたモードが表示されます。ホームボタンをさらに軽く押すと、ホームビューのすべてのタイルが標準モードに設定されます。

センターディスプレイを清掃する場合、ディスプレイの下にあるホームボタンを長押ししてタッチ機能をロックしてください。ホームボタンを軽く押すと、ディスプレイは再度有効になります。

ステータスバーはディスプレイの上部にあり、車内のアクティビティを表示します。ステータスバーの左側には、ネットワークおよび接続情報が表示されます。右側にはメディア関連情報、時間、バックグラウンドアクティビティインジケーターが表示されます。

クライメート列は画面の下部にあり、対応するアイコンをタップすることにより、温度およびシートコンフォートを設定できます。クライメート列のセンターボタンをタップして、クライメートビューを開きます。

フロントパワーシート*

ドア側シートのコントロールボタンを使用して、シートの位置やランバーサポート*などを調節します。シートの位置を調節するには、シートのような形をした 2 つのコントロールボタンを使用します。マッサージ*などの、さまざまなコンフォート機能を調節するには、3 つ目のマルチファンクションコントロールボタン*を使用します。

シートの形をしたコントロールボタン

シートクッションの調節またはシート全体の移動には、下側のコントロールボタンを使用します。バックレストの角度調節には、リアコントロールボタンを使用します。

マルチファンクションコントロールボタン[1]

マッサージ*、サイドサポート*、ランバーサポート*、シートクッションエクステンション*の設定は、マルチファンクションコントロールボタンとリンクしています。

1. コントロールボタンを上下に回すと、センターディスプレイのシート設定が起動します。
2. コントロールボタンを上下に回すと、センターディスプレイでさまざまな機能が切り替わります。
3. コントロールボタンの上/下/前/後部を押すと、選択された機能の設定が変更されます。

位置を保存する

1. シート、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイ*をお好みの位置に設定して、ドアパネルの M ボタンを押します。ボタンのライトインジケーターが点灯します。
2. 3 秒以内にメモリーボタン **1** または **2** を押します。確認音が鳴り、M ボタンの表示灯が消灯します。

保存した位置を使用するには：

ドアが開いているとき – メモリーボタンの 1 つを押して指を離します。

ドアが閉じているとき – 保存された位置になるまで、メモリーボタンの 1 つを押したままにします。

1 4 方向ランバーサポート*装備車両用

リアシートのバックレストを倒す

リアシートを倒すときは、バックレストとヘッドレストが前方のシートの背に接触しないよう注意してください。リアシートのバックレストを倒す前に、場合によっては、フロントシートを調節する必要があります。

バックレストを倒す

リアシートを倒すには、車両が停止しておりテールゲートが開いている必要があります。後部座席に物がなく、だれも座っていないことを確認してください。

1. センターシートのヘッドレストを手動で下げます。
2. 同時にバックレストのラチェットハンドルを引き上げ、バックレストを前方に倒します。バックレストを倒すと、ヘッドレスト用のラチェットハンドルが自動的に引き上げられます。デッドロックの近くの赤いインジケーターが、バックレストのロックが解除されたことを示します。
3. バックレストのロックが解除され、手動で水平位置に倒すことができます。

バックレストを起こす

1. バックレストが所定位置にロックされるまで起こします/戻します。
2. 手動でヘッドレストを起こします。
3. 必要に応じて、センターシートのヘッドレストを持ち上げます。

ステアリングホイール

ステアリングホイールの調節

ステアリングホイールの位置は、高さと前後の調節が可能です。

1. ステアリングホイールの下にあるレバーを前方に押します/手前に引きます[2]。
2. ステアリングホイールをお好みの位置に調節して、レバーを元のロック位置に戻します。

左側のステアリングリモコン

ドライバーディスプレイで運転者サポートを選択するには、ステアリングホイール左側のステアリングリモコンの矢印(◄ および ►)を使用します。運転者サポートシンボルが白色の場合は、機能がオンになっています。灰色は機能がオフまたはスタンバイモードであることを意味します。

ドライバーディスプレイに表示されるシンボル：

速度リミッターは、設定されている上限速度を超過しないようにします。

クルーズコントロールは、一定の速度を保つよう支援します。

アダプティブクルーズコントロール*は、あらかじめ設定した前方車両との車間時間を維持しながら、一定速度を保つよう支援します。

Pilot Assist は、あらかじめ設定した前方車両との車間時間を維持しながら一定速度を保つとともに、ステアリングアシストを使用して自車を車線内に維持するよう支援します。

を押すと、選択した機能が起動または停止します。

+/− を 1 回軽く押すと、設定速度が 5 km/h (5 mph)増加/減少します。ボタンを長押しすると無段階で変化します。目的の速度になったらボタンから指を離します。

/ は、アダプティブクルーズコントロールおよびPilot Assistの使用中に先行車との距離を短く/長くします。

選択した機能を設定速度に戻すときも、 を1回押します。

右側のステアリングリモコン

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用すると、ドライバーディスプレイを操作することができます。

ドライバーディスプレイのアプリメニューを開いたり閉じたりできます。ここから、トリップコンピューター、メディアプレーヤー、電話、ナビゲーションシステム*を操作することができます。

左右の矢印を押して、アプリを移動します。

オプションを選択、選択解除または確定します(トリップコンピューターのメニューの選択、またはドライバーディスプレイのメッセージの削除など)。

▲▼ 上または下を押して、選択したアプリの機能間を移動します。

メディア音量を上げる/下げるには、▼ および ▲ を押します。ほかに作動している機能がない場合、これらのボタンは音量コントロールの役割を果たします。

音声認識をオンにするには、 ボタンを使用します。これにより、メディア、ナビゲーションシステムおよびエアコンディショナーなどを音声で操作できるようになります。例えば、「**ラジオ**」、「**温度を上げる**」または「**キャンセル**」と発声してください。

音声コマンドについては、本Quick Guideの「音声認識」の章を参照してください。

トリップコンピューター

トリップコンピューターは、走行距離、燃費、平均速度などを表示します。ドライバーディスプレイに表示するトリップコンピューターからの情報を、選択することができます。トリップコンピューターは走行可能な距離を計算します。さまざまなオプションを表示するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してください。ドライバーディスプレイに「----」と表示されるときは、走行可能な距離を計算するために十分な燃料が残っていないことを表します。できる限りすみやかに給油してください。

2 市場により異なります。

左側レバースイッチ

ヘッドライト機能の操作には左側レバースイッチを使用します。

AUTO モードを使用すると、車両は車外の明暗を検知し、状況に応じて照明を調整します(日没後やトンネルに入ったときなど)。レバースイッチのコントロールダイヤルを に回すと、対向車に対し自動的に減光するハイビームを使用できます。ハイビームを手動でオンにするには、レバースイッチをステアリングホイールに向かって動かします。メーター・パネルに向かって動かすと、オフになります。

アクティブベンディングランプ*は、ライトがステアリングホイールの動きに追従することによりカーブや交差点で十分な明るさを確保できるように設計されています。この機能は車両を始動すると自動的に起動しますが、センターディスプレイの機能ビュー、 でオフにすることもできます。

アプローチライトは、キーを使用して車両をロック解除したときに車内外の照明を点灯させて、暗闇でも安全に車両に近づけるようにします。

ホームセーフライトは、車両をロックするとエクステリアライトの一部を点灯させ、暗闇を照らします。作動させるには、エンジンを切った後、左側レバースイッチを、メーター・パネルの方向に動かしてから離します。ホームセーフライトの点灯時間は、センターディスプレイで設定することができます。

トリップメーターのリセット

RESET ボタンを長押しすると、手動トリップメーター(TM)のすべての情報がリセットされます。軽く押すと、走行距離のみがリセットされます。自動トリップメーター(TA)は、車両を使用しない状態が 4 時間続くと、自動的にリセットされます。

右側レバースイッチ

ワイパーブレードおよびレインセンサーの操作には右側レバースイッチを使用します。

- ワイパーを 1 回だけ作動させるときは、レバースイッチを下側に動かします。
- レバーを上側に段階的に動かすと、作動速度が間欠、通常、高速の順に切り替わります。
- 間欠速度の調節には、レバースイッチのコントロールダイヤルを使用します。
- レバースイッチをステアリングホイールの方向に動かすとウインドスクリーンウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャーが作動し、メーター・パネルの方向に動かすとリアウインドウォッシャーが作動します。

レインセンサーボタンを押してレインセンサーをオン/オフにします。ウインドスクリーンワイパーのレバースイッチは **0** 位置またはワイパーを 1 回だけ作動させる位置にある必要があります。レインセンサーはウインドスクリーンに付着している水滴の量を感知して、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。コントロールダイヤルを上下に回して、感度を調節します。

リアウインドワイパーを間欠作動させるときに押します。

リアウインドワイパーを連続作動させるときに押します。

ワイパーブレードの交換、清掃または持ち上げ時などには、ウインドスクリーンワイパーのサービスポジションを使用します。センターディスプレイの機能ビューで **ワイパーの サービス位置** ボタンをタップすると、サービスポジションのオン/オフを切り替えることができます。

車内エアコンディショナー

車内の前部および後部のエアコンディショナー機能は、センターディスプレイ、センターコンソールのボタン、トンネルコンソールの後部*で操作します。エアコンディショナー機能の中には、音声認識で操作できるものもあります。

クライメートビューへアクセスするためのアイコンは、センターディスプレイの下中央にあります。**Clean Zone** の文字が青色で表示されている場合、車内の空気が良好な状態であることを示しています。

- クライメートビューで **AUTO** をタップすると、一部のエアコンディショナー機能を自動制御できます。軽く押すと、エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御されます。

  長く押すと、エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御されるとともに、温度とファン速度が標準設定の 22 ℃ (72 °F)およびレベル **3** (後部座席[3] ではレベル **2**)に変更されます。温度およびファン速度は、オートエアコンディショナーをオフにすることなく変更できます。
- センターディスプレイの下端にあるクライメート列でアイコンの 1 つをタップすると、温度、シートヒーター*およびファン速度を調節できます。

すべてのゾーンの温度を運転席側の温度と同期させるには、運転席側の温度アイコンと **温度同期** をタップします。

プリコンディショニング*

プリコンディショニングは車両のセンターディスプレイを使用して設定できます。

プリコンディショニングは、走行前に車内の暖房*や換気を行ないます。プリコンディショニングは直接作動させる方法とタイマー設定で作動させる方法があります。

プリコンディショニングの直接作動

1. センターディスプレイでクライメートビューを開きます。
2. ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ タブを選択して、**プリセット** をタップします。

プリコンディショニングのタイマー設定

1. センターディスプレイでクライメートビューを開きます。
2. ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ ➔ **タイマーを追加** タブを選択し、必要に応じて日付/曜日を設定します。

空気清浄システム IAQS*

IAQS は、Clean Zone Interior Package*の一部で、車内の空気から粒子状物質、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去する全自動システムです。機能をオンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ 温度調整 ➔ 空気清浄度センサー** の順に選択します。

[3] 4 ゾーンエアコンディショナー*装備車の場合

接続

スマートフォンなどさまざまな外部機器から、音声認識を使用して、メディア、SMS、携帯電話を操作したり、車両をインターネットに接続したりすることができます。接続している機器を使用するには、車両の電気系統が I 以上のイグニッション位置である必要があります。

カーモデム[4]

車両をインターネットに接続するもっとも簡単で効果的な方法は、カーモデムを使用する方法です。カーモデムは最高の性能を備え、スマートフォンとの接続が不要で、走行のたびに自動的にオンになります。

1. パーソナル SIM カードを助手席側のフロア付近にあるホルダーに挿入します。
2. トップメニューで **設定** ➔ **通信** ➔ **カーモデムインターネット** をタップします。
3. **カーモデムインターネット** のボックスにチェックを付けてオンにします。

テザリング

車両がモデム経由でインターネットに接続されているときに、ほかの機器とインターネット接続(Wi-Fi ホットスポット)を共有することができます。トップビューで **設定** をタップし、**通信** ➔ **車両 Wi-Fi ホットスポット** の順に選択します。

Bluetooth

Bluetooth を使用すると、携帯電話を車両に接続して、主に通話、SMS およびメディアを操作することができます。Bluetooth 経由で車両をインターネットに接続することもできます。Bluetooth 機器は同時に 2 台接続することができます。その場合、1 台はメディアのストリーミングのみが可能です。次回の車両の使用時には、最後に接続された携帯電話 2 台が自

動的に接続されます(携帯電話の Bluetooth がオンになっている場合)。後で接続しやすくなるように、最大で 20 台の機器がリストに保存されます。

1. 電話の Bluetooth をオンにします。インターネットに接続するには、携帯電話のテザリングも有効にします。
2. センターディスプレイで携帯電話のサブビューを開きます。
3. **電話を追加** をタップします。携帯電話がすでに接続されている場合、**変更**、**電話を追加** の順に接続します。
4. 接続する携帯電話を選択して、センターディスプレイおよび携帯電話の指示に従います。携帯電話によっては、メッセージ機能をオンにする必要があります。

Wi-Fi

車両を Wi-Fi 経由でインターネットに接続すると、車載アプリによるインターネットラジオや音楽、ソフトウェアのダウンロード/アップデートなどのオンラインサービスを Bluetooth よりも高速で利用することができます。スマートフォンによる Wi-Fi 接続は、車両および車内のほかの外部機器のホットスポットとして機能します。

1. 携帯電話のテザリング機能をオンにします。
2. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
3. **通信 ➔ Wi-Fi** をタップし、Wi-Fi 接続のボックスにチェックを付けてオンにします。

車両との接続が切断されると、一部の携帯電話はテザリングがオフになります。したがって、次回の使用時には携帯電話のテザリングを再度有効にする必要があります。

USB

USB を使用して外部機器に接続し、メディアを再生できます。この USB ポートは Apple CarPlay*および Android Auto*にも使用されます。USB ポートが 2 つある場合は、白フレームのポートに接続してください。外部機器は車両接続中に充電されます。

1 USB 入力ポート(タイプ A)は、シートの間のアームレスト内の小物入れの中にあります。

電源ソケット

車両には以下の電源ソケットが用意されています。

2 12 V 電源ソケット

3 12 V 電源ソケットおよび 230 V 電源ソケット*。トランクルーム/カーゴスペースにも 12 V 電源ソケット*が 1 つあります。

4 P-SIM*装備車両のみ。Volvo On Call*装備車では、Volvo On Call サービスにカーモデムによるインターネット接続を使用します。

接続した機器を使用する

外部機器を接続すると、車両のオーディオ・メディアシステムでメディアを再生したり、通話に対応したりすることなどができます。

通話の操作 [5]

Bluetooth 接続の携帯電話から電話の発信/着信が可能です。

センターディスプレイを使用して電話する

1. ホームビューで **電話** サブビューを開きます。通話履歴の使用、連絡先リストの使用、またはキーパッドによる番号入力のいずれかの方法で通話先を選択します。
2. を押します。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して電話する

1. を押し、 または を押して、**電話** に移動します。
2. ▼ を使用して通話リストをスクロールし、○ で選択します。

音声認識を使用して通話を操作することもできます。ステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある音声認識ボタン を押します。音声コマンドについては、本「Quick Guide」の「音声認識」の項を参照してください。

メディアの再生

外部機器からオーディオを再生するには、選択した方法でその機器を車両に接続する必要があります。接続方法については、前のページを参照してください。

Bluetooth 接続のデバイス

1. 接続したデバイスで再生を開始します。
2. センターディスプレイのアプリビューで **Bluetooth** アプリを開きます。再生が開始します。

5 車両に対応する携帯電話については、www.volvocars.com/intl/support を参照してください。

USB 接続のデバイス

1. アプリビューで **USB** アプリを起動します。
2. 再生するオーディオを選択します。再生が開始します。

MP3 プレーヤーまたは iPod

1. デバイスで再生を開始します。
2. 接続方法に応じて **iPod** または **USB** アプリを開きます。iPod のオーディオを再生するには、接続方法に関わらず **iPod** アプリを選択します。再生が開始します。

Apple® CarPlay®*6 および Android Auto*

CarPlay および Android Auto を使用すると、iOS または Android デバイスの一部のアプリを車両経由で使用することができ、音楽を再生したり、ポッドキャストを聞いたりすることなどができます。操作には車両のセンターディスプレイまたはデバイスを使用します。

CarPlay を使用するには、iOS デバイスで Siri をオンにする必要があります。また、Wi-Fi またはモバイルネットワークを介してデバイスをインターネットに接続しておくことも必要です。Android Auto を使用するには、Android デバイスに **Android Auto** アプリをインストールする必要があります。また、デバイスを車両の USB ポートに接続する必要があります。

1. デバイスを白フレームの USB ポートに接続します。
2. Android Auto をオンにするには、アプリビューで **Android Auto** をタップしてください。
3. 利用規約を読み、**承認** をタップすると接続されます。
4. 使用するアプリをタップしてください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの ボタンを長押しすると、CarPlay および Android Auto による音声認識がオンになります。軽く押すと、代わりに車両独自の音声認識システムがオンになります。

CarPlay の使用中、Bluetooth はオフになります。車両をインターネットに接続する必要がある場合は、Wi-Fi または車両のモデム*を使用します。

6 Apple および CarPlay は Apple Inc. の所有する登録商標です。

13:45
1
Ånäsvägen
現在地
2
Lune - Leave The World...
3
Daniel's Phone
Telenor
4
スタジオ
運転席にサウンド最適化
Camera
22°C
AUTO
22°C

ホームビュー

センターディスプレイが起動すると、ホームビューが表示されます。ホームビューからは、ナビゲーションシステム、メディア、電話、および最後に使用したアプリまたは車両機能のタイルにアクセスできます。

1. **ナビゲーションシステム** – ここをタップすると、Sensus Navigation*による地図ナビゲーションシステムにアクセスできます。

   フリーテキストで目的地を設定する – 左側の下矢印を使用してツールバーを展開し、 をタップします。地図イメージがフリーテキスト検索に変わります。検索語を入力します。

   地図で目的地を入力する – を押して地図を最大化します。行きたい場所を長押しして **ここに行く** を選択します。

   目的地を削除する – をタップして、旅程を開きます。旅程から経由地を削除するには、ごみ箱をタップします。旅程全体を削除するには、**ルートをクリア** をタップします。

2. **メディア** – 外部機器からの音楽などが表示されます。アプリビューで **FM ラジオ** を選択した場合、こちらに表示されます。サブビューをタップすると、設定にアクセスできます。ここからは、音楽ライブラリ、ラジオ放送局などを表示できます。

3. **電話** – 電話機能へアクセスします。サブビューをタップすると拡大されます。ここでは、通話履歴または連絡先リストから電話をかけることができます。キーパッドを使用して番号を手動で入力することもできます。番号の選択が完了したら、 をタップします。

4. **最後に使用したアプリまたは車両機能** – ここでは、最後に使用したアプリまたは車両機能のうち、その他のタイルのいずれにも表示されていないもの(**車両の状態** または **燃費** など)を表示できます。サブビューをタップすると、最後に使用した機能にアクセスできます。

13:45
車両機能
ESCスポーツモード
ﾚｰﾝ･ｷｰﾋﾟﾝｸﾞ･ｴｲﾄﾞ
パークアシスト
ｸﾛｽ･ﾄﾗﾌｨｯｸ･ｱﾗｰﾄ
車間警告
カメラ
自動駐車
自動発車
ヘッドレストを倒す
ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの調節
Road Sign Information
ヘッドアップディスプレイ
BLIS
ｱｸﾃｨﾌﾞ･ﾍﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾗｲﾄ
22°C
AUTO
22°C

機能ビューとアプリビュー

機能ビュー

ホームビューを左から右[7]にスワイプすると、機能ビューに移動できます。ここからは、**ヘッドアップ ディスプレイ*** および **パークアシスト** などさまざまな車両機能をオン/オフにすることができます。各シンボルをタップすると、オン/オフになります。一部の機能は、別のウィンドウで開きます。

アプリビュー

ホームビューで右から左[7]にスワイプすると、アプリビューにアクセスできます。車両に付属のアプリや、運転者ご自身がダウンロードおよびインストールを選択できるアプリが表示されます。

アプリおよびシステムの管理とアップデート

アプリビューの **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** では、車両の一部のシステムをアップデートすることができます。この操作を行なうには、車両がインターネットに接続されている必要があります。**ダウンロードセンター** では以下の操作が可能です。

アプリをダウンロードする – **新ｱﾌﾟﾘ** をタップして、必要なアプリを選択します。**ｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択して、アプリをダウンロードします。

アプリをアップデートする – すべてのアプリをアップデートするには、**全てインストール** をタップします。または、**ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ更新** をタップして、利用可能なアップデートのリストを表示します。必要なアプリを選択して、**ｲﾝｽﾄｰﾙ** をタップします。

アプリをアンインストールする – **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ更新** をタップして、必要なアプリを選択します。**ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ** をタップして、アプリをアンインストールします。

システムソフトウェアをアップデートする – **システム更新** をタップして、車両にインストールできるアップデートのリストを表示します。すべてのソフトウェアをアップデートするには、リストの下部にある **全てインストール** を、ソフトウェアプログラムを個別にインストールするには、**ｲﾝｽﾄｰﾙ** をタップします。リストが必要ない場合、**システム更新** ボタンの **全てインストール** を選択します。

アイコンの移動

アプリビューおよび機能ビューでは、車両機能のアプリおよびボタンを必要に応じて移動することができます。

1. アプリまたはボタンをタップしたまま保持します。
2. アプリまたはボタンをビュー内の任意の場所にドラッグして離します。

[7] 左ハンドル車の場合。右ハンドル車の場合は反対方向にスワイプします。

設定
ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ
ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ
車両状態ｱﾌﾟﾘに車両情報を保存しました
助手席
再起動
TuneInsをインストール中です
新しい位置を受信しました
22°C
AUTO
22°C

03

トップビュー

ディスプレイの上部には、下方向にドラッグすることでトップビューを表示できるタブがあります。ここからは **設定**、**ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ**、**ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ** および車両の保存済みメッセージにアクセスできます。

個人設定

設定 では、ディスプレイ、ミラー、フロントシート、ナビゲーションシステム*、オーディオ・メディアシステム、言語および音声認識など、多くの個人設定を設定することができます。

運転者プロフィール

複数の人が運転者として車両を使用する場合、運転者ごとに専用の運転者プロフィールを登録することができます。運転者として車両に乗るたびに、個人設定が保存されている運転者プロフィールを選択することができます。プロフィールの数は、車両のキーの数によって異なります。**ゲスト** プロフィールは特定のキーには関連付けられません。

最初は、ロック解除のときに使用された運転者プロフィールが有効になっています。運転者プロフィールを変更するには、トップビューで **ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ** を選択します。

運転者プロフィールは車両のキーに関連付けることができるため、車両をロック解除すると、運転者の個人設定に合わせて車両の設定が自動的に調節されます。キーの関連付けは、**設定 ➔ システム ➔ ドライバープロファイル** の順に選択して行ないます。運転者プロフィールの１つを選択します(**ゲスト** プロフィールは関連付けできません)。ホームビューが再表示されます。トップビューを下方向に再度ドラッグし、上記の指示に従って操作を繰り返し、選択したプロフィールで **編集** を選択してから **キー接続** を選択します。

Individual ドライブモード

Comfort、Eco、Dynamic ドライブモードの１つに独自の変更を加えたい場合、**設定 ➔ My Car ➔ ドライブモード** でそのドライブモードを有効にします。

システム音量

システムサウンドの音量(画面のタップ音など)を調節またはオフにする場合、**設定 ➔ サウンド ➔ システム音量** の順に選択してください。

運転者サポート

ボルボ車には運転者の安全運転を支援して事故を予防できる多くの機能が搭載されています。これらの機能はセンターディスプレイの機能ビューでオンにすることができます。運転者サポート機能は補助機能に過ぎません。いかなる場合でも、車両を安全に運転する責任は全面的に運転者にあります。機能には以下のようなものがあります。

City Safety™

City Safety[8] は、車両、大型動物、歩行者、サイクリストとの衝突を防止または軽減するために、危機的な状況で運転者を支援することができます。衝突の危険がある場合、警告灯、警告音およびブレーキパルス警告で運転者に対処を促します。運転者による対処が間に合わず衝突がほぼ避けられない場合、車両にオートブレーキをかけることができます。また、運転者のステアリング操作が小さすぎて衝突を回避できない場合、City Safety ステアリングアシストが回避操作の開始時に運転者のステアリング操作を補うこともできます。City Safety はエンジン始動時にオンになり、オフにすることはできません。

Blind Spot Information (BLIS)*

BLIS は、死角にある車両や、隣車線を走行している急接近中の車両について知らせることができます。

Cross Traffic Alert (CTA)*

オートブレーキ付き CTA は BLIS を補完する運転者サポートシステムで、車両後方の左右から近づいてくる車両について警告することができます。CTA からの警告に従わず、衝突が避けられない状況になった場合、この機能で停車させることができます。CTA は、リバースギヤを選択したとき、または車両が後方に動き出した場合に起動します。

レーン・キーピング・エイド

レーンアシスト(Lane Keeping Aid) は、車両が不意に車線から逸脱する危険を低減できるように運転者を支援することができます。必要な支援の形態は、センターディスプレイのトップビューで **設定** ➔ **My Car** ➔ **IntelliSafe** ➔ **Lane Keeping Aid モード** から選択します。

衝突回避ステアリングアシスト

衝突回避アシスト 機能は、自発的なステアリング操作で車両を車線に戻したり、急ハンドルを切ったりすることで、車両が不意に車線から逸脱する危険やほかの車両/障害物と衝突する危険を低減できるように運転者を支援することができます。この機能は、車道逸脱回避ステアリングアシスト、正面衝突回避ステアリングアシスト、追突回避ステアリングアシスト*の 3 つの補助機能で構成されています。

Pilot Assist

Pilot Assist[9] は、車両を車線内に維持し、前方の車両との車間距離をあらかじめ設定されている距離に維持するよう支援することができます。Pilot Assist は、ステアリングホイール左側のステアリングリモコンを使用して選択し、オンにすることができます。ステアリングアシストが機能するには、運転者が両手をステアリングホイールに置いていることと、車線境界線が視認できることなどが必要です。ステアリングアシストが作動しているときには、ドライバーディスプレイに緑色のステアリングホイールシンボルが表示されます。

8 一部の市場では利用できません。
9 この機能は標準装備の場合とオプション装備の場合があり、市場によって異なります。

パークアシスト

パークアシスト・パイロット*

パークアシスト・パイロットは、駐車時の運転操作を支援できます。運転者は車両周辺に注意しながら、センターディスプレイの指示に従ってギヤの選択、速度の操作、ブレーキ/停止の操作を行ないます。

パークアシスト・パイロットを使用して駐車する

駐車するときは、30 km/h (20 mph)未満で走行します。駐車スペースを探しているときは、車両と駐車スペースとの間に約 1 m (3 ft)の距離が必要です。

1. 機能ビューまたはカメラビューで **自動駐車** ボタンを押します。
2. 適切な駐車スペースが見つかると、センターディスプレイにグラフィックとテキストが表示されます。すぐに停車できるように備えておくようにしてください。ポップアップウィンドウが表示されます。
3. **縦列駐車** または **並列駐車** を選択し、リバースギヤに入れます。
4. センターディスプレイに表示される指示に従います。

パークアシスト・パイロットを使用して縦列駐車スペースから出る

この機能は縦列駐車をした車両にのみ使用できます。

1. 機能ビューまたはカメラビューで **自動発車** ボタンを押します。
2. 方向指示器を使用して、駐車スペースから出るときの方向を選択します。
3. センターディスプレイに表示される指示に従います。

パークアシスト・カメラ*

パークアシスト・カメラは、狭い場所で駐車操作を行なうときにセンターディスプレイのカメラ画像とグラフィック表示で障害物を示し、運転者の操作をサポートします。カメラ画像およびガイドラインはセンターディスプレイで選択します。画面上の物体/障害物は、見た目よりも車両に接近している可能性があります。パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択したときに自動的に起動します。また、センターディスプレイから手動で起動することもできます。

- 機能ビューで **カメラ** ボタンをタップして、機能を手動でオン/オフにします。

VOLVO
V60
MLB 060

さらにクリーンに走る喜びを

走行前の準備を整え、燃料効率のよい運転をすると、燃料消費量、二酸化炭素排出量およびその他の汚染物質の量を低減できます。これにより、運転者は環境への負荷を低減するとともに、燃料費を節約することもできます。運転者自身が影響を与えることのできる要因もあれば、そうではない要因もあります。以下はいくつかのヒントです。

かならず以下のことを実行して、運転の準備をしてください

- 計画的に走行してください。繰返し不必要に停止したり、走行速度が一定ではないと、燃料消費量が増加します。

燃料効率のよい運転をするには：

- Eco ドライブモードをオンにすると、エネルギー効率の高い走行向けに車両が調整されます。
- 無用なアイドリングを避けます。長時間停車するときは、エンジンを停止してください。
- 一定速度で走行し、ほかの車両や障害物との距離を十分に確保して、ブレーキ操作を最小限に抑えます。
- 適切なタイヤ空気圧で走行し、定期的にタイヤ空気圧を点検します。ECO タイヤ空気圧を選択すると、最良の結果が得られます。
- 走行中はウインドを閉めておきます。

運転者が影響を与えることのできない要因

- 交通状況
- 道路の状態および地形
- 外気温および向かい風

燃料効率のよい運転のヒントについては、オーナーズマニュアルを参照してください。

音声コマンド

音声認識システムでは、あらかじめ定義されたさまざまなコマンドを備える音声認識[10]を使用して、メディアプレーヤー、Bluetooth 接続の携帯電話、エアコンディショナーシステムおよびボルボナビゲーションシステム*の一部の機能を操作することができます。音声認識を起動するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある音声認識ボタンを押します。

通常、以下のコマンドは状況に関係なく使用できます。

- **リピート**：現在の対話の最後の音声案内を繰り返します。
- **ヘルプ**：ヘルプの対話を開始します。現在の状況で使用可能なコマンド、指示または例をお知らせします。
- **キャンセル**：対話をキャンセルします[11]。

電話用の音声コマンド

- 電話 [contact]（連絡先）
- 電話 [telephone number]（電話番号）
- 履歴
- メッセージを読む
- メール宛先[contact]（連絡先）[12]

ラジオおよびメディア用の音声コマンド

- メディア
- 再生 [artist]（アーティスト）
- 再生 [song title]（曲名）
- 再生 [album]（アルバム）の [song title]（曲名）
- 再生 [TV channel name]（テレビチャンネル名）*[13]
- 再生 [radio station]（放送局）
- 周波数 [frequency]（周波数）
- 周波数 [frequency]（周波数）[wavelength]（バンド）
- ラジオ
- ラジオ FM
- ラジオ AM[14]
- TV*
- CD*
- USB
- iPod
- ブルートゥース
- 似た音楽

エアコンディショナーシステム用の音声コマンド

- エアコン
- 温度を X 度に設定

- 温度を上げる/温度を下げる
- 温度同期
- フロア送風オン/ボディ送風オン
- フロア送風オフ/ボディ送風オフ
- ファンを最大/ファンオフ
- ファン速度を上げる/ファン速度を下げる
- オートエアコンオン
- エアコンオン/エアコンオフ
- 車内循環オン/車内循環オフ
- デフロスターオン/デフロスターオフ
- デフロスターオン/デフロスターオフ
- エレクトリックデフロスターオン/エレクトリックデフロスターオフ*
- リアデフロスターオン/リアデフロスターオフ
- ステアリングヒーターオン/ステアリングヒーターオフ*
- ステアリングヒーターを上げる/ステアリングヒーターを下げる*
- シートヒーターオン/シートヒーターオフ*
- シートヒーターを上げる/シートヒーターを下げる*
- シートベンチレーションオン/シートベンチレーションオフ*
- シートベンチレーション上げる/シートベンチレーション下げる*

ナビゲーションシステム*用の音声コマンド

- ナビゲーション
- 自宅
- 目的地は [city]（市町村）
- 交差点を追加
- 目的地は [prefecture]（都道府県）[district]（地区）[city]（市町村）[15] [quarter number]（番地）[15]
- 目的地は [prefecture]（都道府県）[city]（市町村）[district]（地区）[15] [town/locality]（区町村/字）[15] [quarter number]（番地）[15]
- 目的地は [prefecture]（都道府県）[city]（市町村）[town/locality]（区町村/字）[quarter number]（番地）[15]
- 目的地は [prefecture]（都道府県）[town/locality]（区町村/字）[village]（村）[15] [quarter number]（番地）[15]
- 目的地は [contact]（連絡先）
- 施設検索 [POI category]（POI カテゴリー）
- 施設検索 [POI category]（POI カテゴリー）[city]（市町村）
- 施設検索 [POI name]（POI 名）
- 施設検索 [telephone number]（電話番号）
- お気に入りを表示
- 道順を削除
- 音声案内を繰り返す
- 音声案内オフ
- 音声案内オン

10 特定市場に適用
11 このコマンドはシステムが話していないときにのみ対話をキャンセルします。キャンセルするには、ビープ音が 2 回鳴るまで音声認識ボタンを長押ししてください。
12 特定の電話のみ、車両を介してメッセージを送信できます。互換性については、support.volvocars.com を参照してください。
13 特定市場に適用
14 利用の可否はモデルや市場により異なります。
15 省略できます。

特別なメッセージ

オーナーズマニュアルおよびその他のマニュアルには、安全に関するインストラクションが含まれています。かならずすべての警告、重要情報、注意事項をお読みください。一部の機能は、特定の市場でのみご利用いただけます。

警告

はじめに

Sensus Navigation* – つねに道路状況に目を配り、運転に集中してください。交通法規を順守し、的確な状況判断で運転してください。道路状況に影響をおよぼす天候条件、または時期により、一部の推奨事項の信頼性が低くなる場合があります。

エクステリア概要

テールゲート – テールゲートを開閉するときには、手を挟まないように注意してください。閉じる前に、テールゲートの近くにだれもいないことを確認してください。挟まれてケガをすると、深刻な結果を招くおそれがあります。テールゲートの操作は、つねに慎重に行なってください。

キーレスロック/ロック解除* – リモートコントロールキーまたはドアハンドルによるキーレスオープン*ですべてのウインドを閉じるときには、お子様やその他の乗員が挟まれる危険がないことを確認してください。

インテリア概要

車両に助手席側エアバッグのオン/オフ用スイッチが装備されていない場合、**助手席側エアバッグ**はつねにオンの状態です。助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。助手席に乗員(お子様および大人)を前向きで座らせるときには、かならず助手席側エアバッグを有効にしてください。助手席側エアバッグが装着されているダッシュボードの前や上には、絶対に物を置いたりアクセサリーなどを取り付けないでください。

車外に出るときは、かならず**リモートコントロールキー**を持って出てください。車内にお子様がいるときは特に、車両の電気系統がイグニッションモード**0**にあることを確認してください。

坂道に駐車するときには、かならず**パーキングブレーキ**を使用してください。ギヤを入れる、またはオートマチックトランスミッションの**P**位置にするだけでは、車両を静止状態に保持できないことがあります。

フロントパワーシート

運転席シートの調節は、かならず走行前に行なってください。走行中は絶対に調節しないでください。急ブレーキや事故の際に、ケガをすることがないように、シートが確実に固定されていることを確認してください。

リアシートのバックレストを倒す

バックレストを上下に動かした後は、しっかりとロックされていることを確認してください。また、ヘッドレストを上げた後もしっかりとロックされていることを確認してください。

車内エアコンディショナー

シートヒーター*機能の温度上昇や変化を感じにくい方や、シートヒーターの操作がわからない方は、シートヒーターを使用しないでください。火傷を負うおそれがあります。

プリコンディショニングは、あらかじめタイマーを設定して開始することができます。ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 換気ができない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出します。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。例えば、右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

接続

- 損傷や不具合のないアクセサリーのみ、使用してください。アクセサリーはCEマーク、ULマークまたは同等の安全マークを取得している必要があります。
- アクセサリーはソケット用に設計されたコネクターを備え、230 V、50Hzに対応している必要があります。
- ソケット、コネクター、またはアクセサリーが、水やその他の液体に接触しないよう、十分に注意してください。ソケットが損傷している、または水やその他の液体に接触しているおそれがあるときは、触れたり、使用したりしないでください。
- 分岐ソケット、アダプター、または延長コードをソケットに接続しないでください。ソケットの安全機能を損なうおそれがあります。
- ソケットには保護カバーが備えられています。カバーの役割を妨げるものがソケットから突き出ていたり、ソケットを損傷したりしていないか、確認します。ソケットを使用しているときは、保護者の同伴なくお子様を車内に残して離れないようにしてください。

運転者サポート

車内で利用可能な運転者サポートシステムは、運転者の補助機能として設計されていますが、あらゆる交通条件、気象条件および道路条件ですべての状況に対応できるとは限りません。これらのシステムは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。車両の制動および操舵に関する最終的な責任はつねに運転者にあります。

車両を使用する前に、オーナーズマニュアルの運転者サポートシステムに関する項目をすべてお読みになることをお薦めします。

パークアシスト

パークアシスト・パイロットは補助的な運転者サポートですが、すべての状況に対応できるとは限りません。本機能は、縦列駐車および並列駐車の際に運転者を支援することのみを目的としています。車両の安全な駐車と必要に応じたブレーキ操作については、運転者が全面的に責任を負います。スキャンでは、駐車スペースの奥にある物体が検知されないことがあります。パークアシスト・パイロットから提案されたスペースが駐車に適しているかどうかを判断する責任はつねに運転者にあります。

パークアシスト・カメラは駐車のための補助的な運転者支援機能です。本機能は、運転者の注意および判断にけっして代わるものではありません。カメラには死角があり、すべての物体を感知することはできません。車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特に注意してください。駐車操作時には、車両の前部が対向車線の方向へ振れることがあるため注意してください。

車両を使用する前に、オーナーズマニュアルの運転者サポートシステムに関する項目をすべてお読みになることをお薦めします。

音声コマンド

車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。

重要

インテリア概要

ヘッドアップディスプレイユニット*はメーター・パネルに配置されており、このユニットから情報が映し出されます。ディスプレイユニットのカバーガラスの損傷を防止するため、カバーガラスの上にはなにも置かないでください。また、カバーガラスに物を落とさないように注意してください。

センターディスプレイ

センターディスプレイの**清掃時**には、砂などの付着していないマイクロファイバークロスを使用してください。センターディスプレイを清掃する場合、ディスプレイを強く押さないように注意してください。強い力がかかると、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

センターディスプレイには液体または腐食性の化学薬品を直接スプレーしないでください。ウインドクリーナー、その他の洗浄剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤入りの洗浄剤は使用しないでください。研磨布、ペーパータオルまたはティッシュペーパーは絶対に使用しないでください。ディスプレイに傷がつくおそれがあります。

リアシートのバックレストを倒す
バックレストを折り畳む場合には、リアシートになにも置かないでください。また、シートベルトもバックルにはめないでください。
センターシートのアームレスト*は格納位置にしておく必要があります。

右側レバースイッチ
サービスポジションのワイパーブレード – ワイパーブレードをサービスポジションにする前に、凍結していないことを確認してください。サービスポジションのワイパーアームをウインドスクリーンから起こした場合、ワイパー、ウォッシャーまたはレインセンサーを作動させる前、または車両を運転する前に、かならずワイパーアームをウインドスクリーンの元の位置に戻してください。これは、ボンネットの塗装に傷を付けないようにするためです。

接続
電源ソケット – 12V 電源ソケットの最大出力はソケット 1 つあたり 120W (10A) です。
230 V 電源ソケットの最大出力は 150W です。

注意

エクステリア概要
キック操作のテールゲート – リアバンパーに大量の氷、雪、汚れなどが付着していると、機能が低下する、またはまったく動作しなくなる可能性があります。このため、つねにきれいな状態に保つようにしてください。
キック操作のテールゲート機能には、次の 2 つのバージョンがあります。

- 足の動きで開閉ができる
- 足の動きでロック解除のみができる(テールゲートは手で持ち上げて開く)

キック動作での開閉機能には、パワーテールゲート*が必要です。

リモートコントロールキーが作動範囲内にある場合、洗車機内などでシステムがオンになる可能性がありますので注意してください。
開口位置のプログラム – システムが長時間継続して作動していた場合には、過重負担を避けるためオフになります。約 2 分経過すると、再び作動させることができます。

電磁場および電磁遮蔽は、**リモートコントロールキーの機能**を妨げるおそれがあります。リモートコントロールキーを金属物や電子機器(携帯電話、タブレット、ノートパソコン、充電器など)の近くに保管することは避けてください。かならず 10～15 cm (4～6 インチ)以上離れた場所に保管してください。

インテリア概要
冷寒時、エンジン始動後のエンジン回転数が、通常よりも若干高くなる場合があります。これは、エミッションシステムをできるだけすみやかに正常な作動温度にして有害な排気ガスを抑え、環境を保護するためです。
ヘッドアップディスプレイ* – City Safety 機能がオンになると、ヘッドアップディスプレイの情報が City Safety のグラフィック表示に変更されます。このグラフィックは、ヘッドアップディスプレイがオフの場合でも点灯します。
例えば、偏光サングラスを着用している場合、シートの中央に座っていない場合、ディスプレイユニットのカバーガラスに物が置かれている場合、光条件が適切ではない場合などには、ヘッドアップディスプレイが見えにくくなることがあります。視覚障害をお持ちの場合、ヘッドアップディスプレイの使用中に頭痛やストレスを感じることがあります。

ステアリングホイール
トリップコンピューター – 走行方法が変わった場合には、走行距離の計算に誤差が生じる場合があります。

車内エアコンディショナー
希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。
プリコンディショニング – 車内のプリコンディショニング中はドアや窓を閉めてください。

接続
カーモデム – P-SIM を介したインターネット接続に使用される SIM カードに、電話機で使用される SIM カードと同じ電話番号を付与することはできません。電話番号が同一の場合、通話を正しく電話機に接続することができなくなります。したがって、別の電話番号を持つインターネット接続用の SIM カード、または通話の処理を行なわず電話機能を妨害しないデータ専用カードを使用してください。
インターネット – データはインターネット使用時に転送され(データ通信)、費用が発生する場合があります。データローミングおよび Wi-Fi ホットスポットを有効にすると、追加費用が発生する場合があります。データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。携帯電話を使用してダウンロードする際は、データ通信にかかる費用に十分注意してください。
データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなど)に影響をおよぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響をおよぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。携帯電話を使用してダウンロードする際は、データ通信にかかる費用に十分注意してください。
アップデート – 携帯電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、Bluetooth 接続が中断される場合があります。この場合、いったん車両から携帯電話を削除し、再度接続してください。

接続した機器を使用する
Apple CarPlay および Android Auto – ボルボは CarPlay または Android Auto アプリのコンテンツに関して一切責任を負いません。
Android Auto をインストールするためには、車両に USB ポートが 2 つ(USB ハブ)*装備されている必要があります。車両に USB ポートが 1 つだけ装備されている場合、Android Auto を使用することはできません。

メモ

メモ

VOLVO

TP 30573 (Japanese), AT 1946, MY20, Copyright © 2000-2019 Volvo Car Corporation